

強制終了後の物件データの復旧方法

文書管理番号：1016-02

Q. 質問

A's での作業途中で強制終了してしまったが、物件データを保存していない。
作業していた物件データを復旧して保存したい。

A. 回答

A's で物件データを起動し作業している間、編集データは作業フォルダに仮保存されていきます。
自動データ保存の設定を行っている場合は、設定時間ごとに自動的に仮保存されます。

* 自動データ保存設定につきましては、こちらをご覧ください。

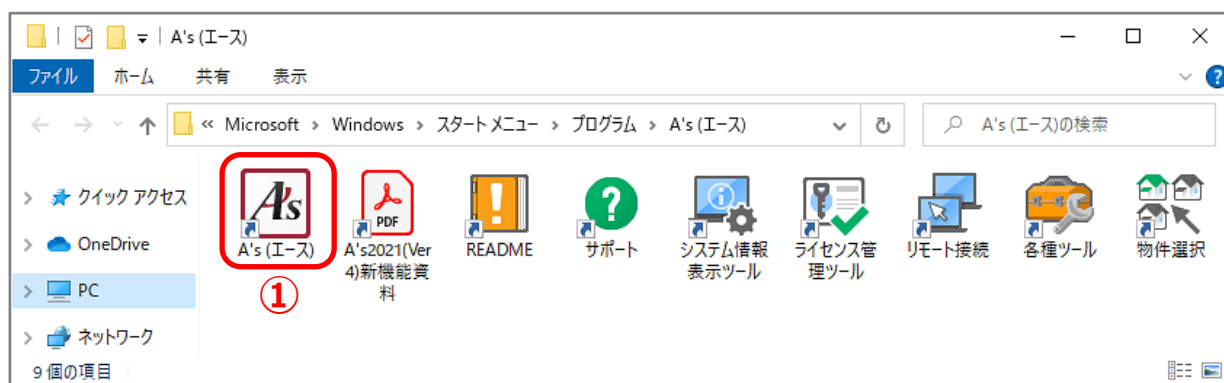
[\[10\] 物件データを自動的に保存したい](#)

A's での作業中に A's が強制終了してしまい、物件データを保存していなかった際には、「物件管理」と「物件選択」のそれぞれから、前回作業していた物件で仮保存されている編集データを読み込むことができます。


ただし、終了状態や仮保存されている内容によっては、読み込みできない場合や編集作業内容すべてを復旧できない場合もあります。

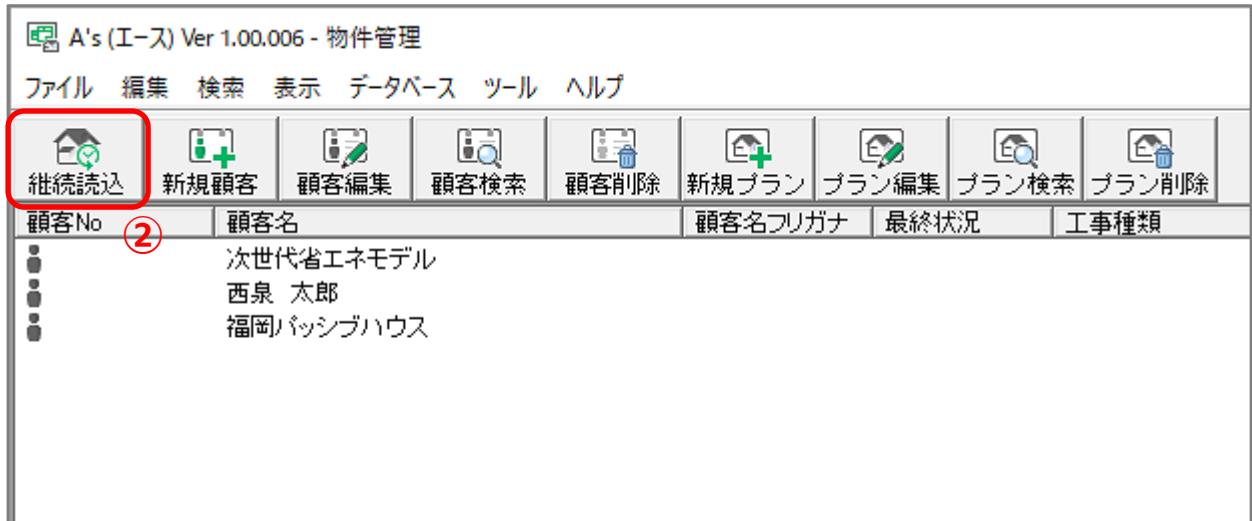
操作手順：物件管理

- ① A's のグループフォルダから  (A's(エース)) をダブルクリック



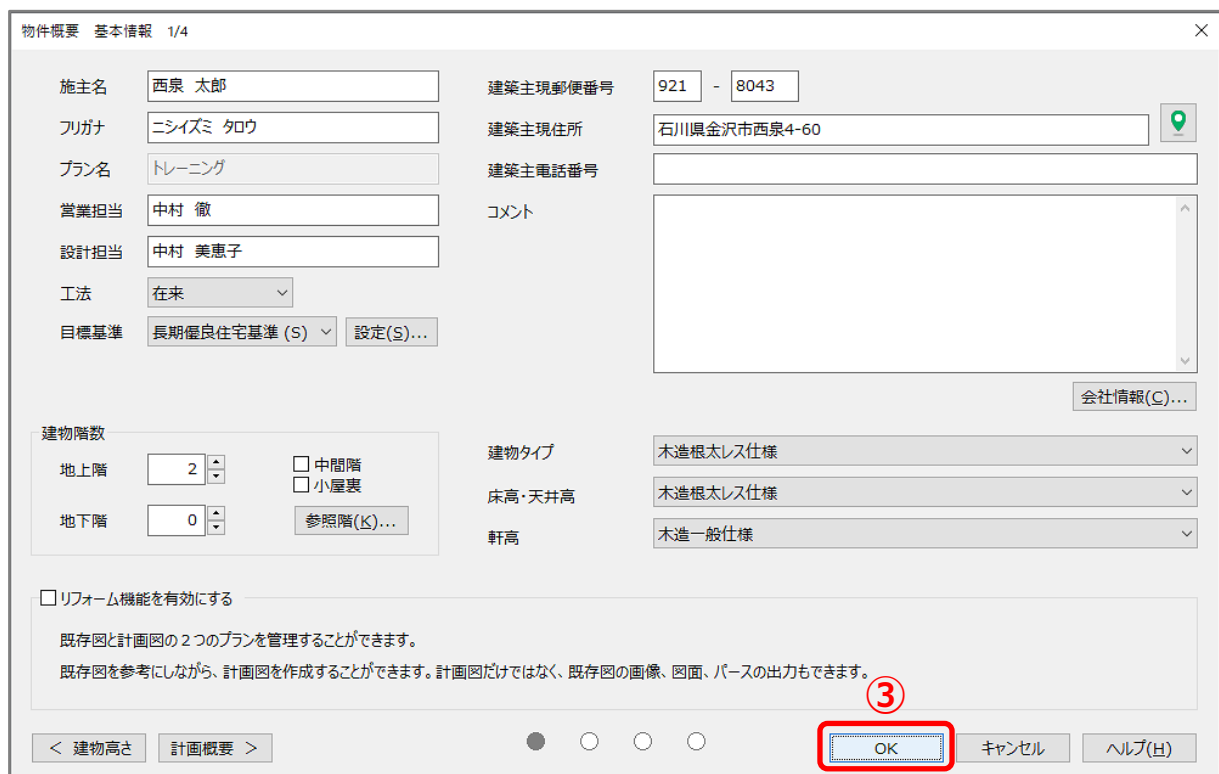
- * 物件管理の画面が開きます。
- * 物件管理の画面が開かない場合は、Windows を再起動後にもう一度①の操作を行ってください。

- ② 既存の物件を開かずに、 (継続読込) をクリック




- * 保存作業が完了していない既存の物件を開いてしまうと、仮保存されている編集データがなくなってしまう。
- * 「編集」⇒「作業中物件の継続読み込み」を選択してもかまいません。
- * 前回作業していた物件で、仮保存されている編集データが読み込まれ、物件概要が表示されます。

- ③ 物件概要を確認後、「OK」をクリック



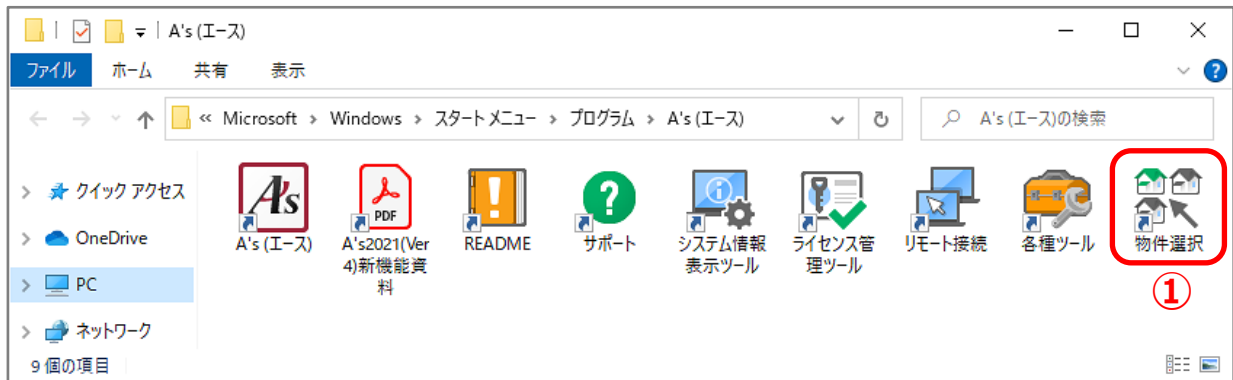
- * メインメニューとプラン図の画面が表示されます。

④ 読み込まれたデータの内容を確認し、保存

- * 仮保存されている編集データは、正式な物件データとして保存されていないので、物件データとして保存を行ってください。
- * 物件データの保存は、メインメニューまたはクイックメニューの  (終了)をクリックし、「上書きで保存して終了」を行ってください。

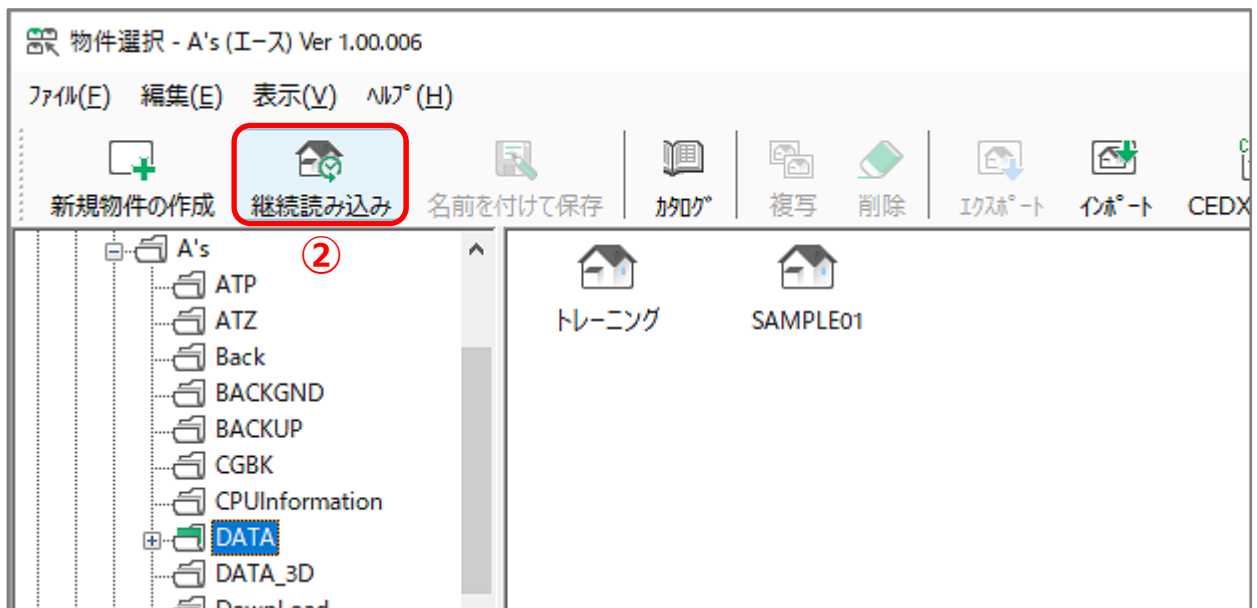
操作手順：物件選択

- ① A'sのグループフォルダから  (物件選択)をダブルクリック

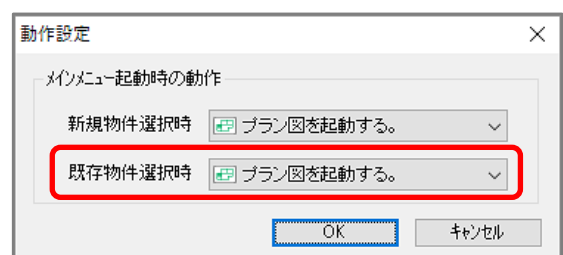


- * 物件選択の画面が開きます。
- * 物件選択の画面が開かない場合は、Windows を再起動後にもう一度①の操作を行ってください。


- ② 既存の物件を開かずに、 (継続読み込み)をクリック



- * 保存作業が完了していない既存の物件を開いてしまうと、仮保存されている編集データがなくなってしまう。
- * 「ファイル」⇒「作業中物件の継続読み込み」を選択してもかまいません。
- * 前回作業していた物件で、仮保存されている編集データが読み込まれ、メインメニューが表示されます。
- * メインメニュー起動時の動作設定で、既存物件選択時の動作を「プラン図を起動する。」にしても、プラン図の画面は自動で起動してきません。メインメニューから選択してください。



③ 読み込まれたデータの内容を確認し、保存

- * 仮保存されている編集データは、正式な物件データとして保存されていないので、物件データとして保存を行ってください。
- * 物件データの保存は、メインメニューまたはクイックメニューの  (終了)をクリックし、「上書きで保存して終了」を行ってください。